

令和元年度 事業の概要

社会福祉法人 聖籠町社会福祉協議会

事業の概要

拠点区分	法人運営事業		
サービス区分	本会運営事業		
事業名	社協会員の推移		
事業費	1, 8 6 7, 5 0 0 円		
	財 源	町補助	0 円
		募金	0 円
		その他（会費収入）	1, 8 6 7, 5 0 0 円

【事業説明】

町社会福祉協議会会員規程に基づき、社会福祉に関心を持ち町社協の趣旨に賛同して入会する方たちで、町内各世帯を一般会員とし、他に賛助会員（団体役員、学識経験者）特別会員（篤志家、会社、団体及び施設等）とするものです。一般会員は1世帯当たり500円、賛助会員は1口当たり1千円、特別会員は1口当たり3千円となっています。

【元年度の傾向】

今年度は会員世帯が3,731件となり総額で1,867,500円となりました。加入率は84.5%で前年対比で2.0%の減となりました。

【課題と今後の方針】

町内の世帯数が増加傾向にあるなか、会員世帯がわずかながら減少（△9件）したことで加入率の減少が△2%となりました。今までは集落一括納付で対応してくれていたところも徐々に個別対応となるケースが出てきており、町民に社協の福祉事業活動への理解を深めることがより一層求められていると考えています。

【実績】

	年度	会員世帯	加入率 %
会員数	H28	3,711/4,241 (H28.7.1現在)	87.5
	H29	3,709/4,261 (H29.7.5現在)	87.0
	H30	3,742/4,328 (H30.7.1現在)	86.5
	R元	3,731/4,421 (R元.7.1現在)	84.5

事業の概要

拠点区分	共同募金配分金事業（法人運営事業）（地域福祉推進事業）		
サービス区分	一般配分金事業（本会運営事業）（地域福祉推進センター）		
事業名	広報活動と情報発信		
事業費	615,948円		
	財源	町補助	0円
		募金	615,948円
		その他（ ）	0円

【事業説明】

会報の発行として「社協だより」、ボランティア活動については「ボラネット広報誌」を発行しています。また、社協ホームページにも情報の掲載を随時行っています。

【元年度の傾向】

いずれも、ほぼ例年通りの事業運営ができました。

【課題と今後の方針】

社協が取り組んでいる福祉活動を周知する手段として重要な役割を担っていることから、より一層の紙面の充実を図る必要があると考えます。町民が身近に感じられる情報の提供や事業に関わってくれている人たちの思いを伝えながら、社協に関わる町民が増やせるような紙面作りに努めます。

【実績】

会報の発行	社協だより 年5回、ボラネット広報誌 年2回
ホームページ	閲覧回数 4,341回（前年度3,294回）

事業の概要

拠点区分	地域福祉推進事業		
サービス区分	地域福祉推進センター		
事業名	福祉資金調査委員会事業		
事業費	88,000円		
	財源	県社協委託	88,000円
		募金	0円
		その他()	0円

【事業説明】

この事業は所得の少ない世帯、障がい者のいる世帯及び介護を要する高齢者のいる世帯に対して、必要な相談支援と資金の貸付を行うことにより、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的としており、県社協からの委託事業で当会が窓口業務を担っている事業です。

【元年度の傾向】

今年度は委員会開催がなく、相談件数4件、貸付件数は0件でした。相談はあったものの、相談に来られた時点で貸付の要件に合わない方がほとんどでした。その他、償還に関しては引き続き毎月償還をしている世帯や、返済が滞っている世帯も定期的に状況把握をしています。

【課題と今後の方針】

単なるお金の貸し借りではなく、生活の安定につながる相談支援と資金の貸付を行っています。償還について、初期滞納世帯に対してすぐに連絡を取ることで滞納世帯をつくらぬよう心がけています。なお、固定化した滞納世帯は、県社協と相談のうえ役割分担し対応しています。

【相談状況等】

(償還済み件数は除く) 相談件数4件 貸付決定件数0件

区分	福祉	住宅	教育	生活	緊急小口	総合支援	合計
H28年度	4		2		1	1	8
H29年度	4		2		1	1	8
H30年度	3		2			1	6
R元年度	2		2			1	5

年度末残高(利子含む) 5,740,496円

(内訳: 元金2,240,940円、利子3,499,226円、(約定利子173,660円、延滞利息3,325,566円))

事業の概要

拠点区分	地域福祉推進事業		
サービス区分	地域福祉推進センター		
事業名	心配ごと相談所運営事業		
事業費	403,264円		
	財源	町委託	403,264円
		募金	0円
		その他()	0円
【事業説明】			
<p>心配ごと相談事業については年6回、弁護士相談は年8回開催した。心配ごと相談の相談員は一般市民のなかから経験豊富な相談員が対応。弁護士相談は、民事関係に精通している弁護士が対応しています。</p>			
【元年度の傾向】			
<p>心配ごと相談と比較すると、弁護士相談の件数が増加傾向にあります。弁護士相談の中でも財産問題や人権・法律、離婚問題に関する相談が主なものになっています。新発田市・胎内市との連携事業で、町内の相談者が少ない時には二市からの相談者を受け入れることもあります。</p>			
【課題と今後の方針】			
<p>弁護士相談は公平性を期すため1か月前の予約を原則としています。また、心配ごと相談は相談件数の減少傾向から、12回から6回に減らせていただきました。相談者がほとんどない状況ですが、誰でも来れる相談場所として必要と考えているので、これからも開かれた相談場所としてPRに努めます。</p>			
【相談実績】			
別紙のとおり			

別紙

2 地域福祉推進事業

(1) 地域福祉推進センター

【心配ごと相談所運営事業】

心配ごと相談 6回開催 ・ 弁護士相談 8回開催（無料）

区分	相談事項	相談員件数	弁護士件数	合計
1	生 計			
2	年 金			
3	職 業 ・ 生 業			
4	住 宅		3	
5	家 族		1	
6	結 婚			
7	離 婚		6	
8	健康・保健・衛生			
9	医 療			
10	人 権 ・ 法 律		8	
11	財 産		12	
12	事 故			
13	児童福祉・母子保健			
14	教 育 ・ 青 少 年			
15	障害者（児）福祉			
16	母子福祉・父子福祉			
17	老 人 福 祉			
18	苦 情			
19	そ の 他			
	合 計	0	30	30

29年度	心配ごと相談件数	3件
	弁護士相談件数	27件
30年度	心配ごと相談件数	1件
	弁護士相談件数	37件
元年度	心配ごと相談件数	0件
	弁護士相談件数	30件

事業の概要

拠点区分	地域福祉推進事業		
サービス区分	地域福祉推進センター		
事業名	生活支援体制整備事業		
事業費	7, 077, 406円		
	財源	町委託（受託金）	7, 077, 406円
		募金	0円
		その他（ ）	0円
【事業説明】			
<p>町からの受託事業。協議体への参加と地域の生活や困りごとを伺い、困りごとに対してお手伝いできるボランティア等担い手を見つけ出し支援につなげる事業です。</p> <p>※協議体…協議体とは、地域に支え合いの輪を広げて行くために、地域住民同士で話し合う場です。構成メンバーは社協や地縁団体、町老連など地域の支え合いを支援してくれる団体等です。</p>			
【元年度の傾向】			
<p>元年度はPR活動に努めました。まずは地域へ出ることによって生活支援コーディネーターを覚えてもらい、その上で地域の様々な社会資源を再認識し、新たな集いの場も知ることができたことで、町内の様子を確認することができました。</p>			
【課題と今後の方針】			
<p>引続き生活支援コーディネーターを知ってもらうための周知に努め、地域に伺い支援のヒントとなる様々な声を拾うと同時に、担い手の発見に努めます。</p>			
【実績】			
<p>別紙のとおり</p>			

別紙

2 地域福祉推進事業

(4) 地域福祉推進センター

【生活支援体制整備事業】

名 称	内 容	出席者
聖籠町生活支援体制整備事業協議体	令和元年7月3日開催	生活支援コー ディネーター 2人
	第1回打ち合わせ会	
	令和2年2月26日開催	生活支援コー ディネーター 2人
	第2回打ち合わせ会	

区域の活動

小学校区等	訪問回数
山 倉	39
蓮 野	13
亀 代	12
そ の 他	4
総 計	68

地域団体への支援

() 内は前年度

名称	場所	実施者	回数	実人数	延べ人数
寄り合いはまな	網代浜公民館	ボラ	7回/年(8)	28(38)人	168(397)人
お茶の間はすがた	蓮濁公会堂	〃	9回/年(8)	38(16)人	301(128)人
本大夫、本諏訪山 なかよし会	本大夫公会堂	〃	4回	16人	55人

事業の概要

拠点区分	地域福祉推進事業		
サービス区分	地域福祉推進センター		
事業名	ふれあい交流事業		
事業費	197,343円		
	財源	町補助	197,343円
		募金	0円
		その他()	0円

【事業説明】

地域の高齢者が気軽に集まり、そこでの日常会話の中で生きがいをづくりにつなげるサロンの事業です。当会の職員（パート）が行っていますが、現在は上大谷内集落、丸瀧集落の2か所が事業対象となっています。

【元年度の傾向】

参加者の集まり具合などの理由から昨年と比べ回数を減らして開催しました。利用者は上大谷内集落5人、丸瀧公会堂10人です。参加者は固定しており、毎回体調面等で参加できない方が見受けられます。

【課題と今後の方針】

当会が行うサロンの事業であるため、他の類似した事業とどのように整合を図るのか検討する必要があると考えています。

【実績】

()は前年度

名称	場所	実施者	回数	実人数	延べ人数
上大谷内	上大谷内 公会堂	社協	11回/年 (12)	5 (5) 人	67 (77) 人
丸瀧	丸瀧公会 堂	社協	11回/年 (11)	10 (10) 人	84 (104) 人

事業の概要

拠点区分	地域福祉推進事業		
サービス区分	地域福祉推進センター		
事業名	介護初任者研修		
事業費	0円		
	財源	町補助	0円
		募金	0円
		その他 ()	0円
【事業説明】			
<p>介護人材が不足している現状で、聖籠町においても介護人材の育成を行うことで介護人材を増やしていくことと、地域内のコミュニティで介護技術を教えることによって、介護を地域福祉活動の導入ツールとして使ってもらおうことを目指しています。</p>			
【元年度の傾向】			
<p>元年度は申し込みが1名であったため開催しませんでした。</p>			
【課題と今後の方針】			
<p>介護人材不足の解消に向けての取組みの必要性はあるものの、申込者がわずかという状況については、人材育成機関への希望者自体が減少傾向にある現状においてはこの傾向は今後も続くものと考えます。地域コミュニティで介護技術をツールとし地域に入り込むことができなかったの別手段をツールとする検討が必要であると考えます。</p>			
【実績】			
なし			

事業の概要

拠点区分	地域福祉推進事業		
サービス区分	ボランティアセンター		
事業名	ボランティア活動事業 (ボランティア育成、ふれあいサロン、除雪ボランティア、ぼらねっと)		
事業費	456,743円		
	財源	町補助	0円
		募金	456,743円
		その他 ()	0円
【事業説明】			
<p>この事業は、町内のボランティア団体の連携や情報発信を図ることで、ボランティア活動を活性化するとともに、当会にボランティア登録していただき、ボランティアの依頼があった場合、登録情報を基に速やかに対象ボランティアにつなげるもののほか、ボランティアの育成支援を行っています。ボランティアの登録状況は、個人が15名、団体が7団体となっています。</p>			
【元年度の傾向】			
<p>地域の茶の間の取組みが徐々に広がりを見せて、新規も含めて6地区で活動が継続されています。2年目の除雪ボランティアはボランティア登録が20名、除雪申し込みが17件あったものの、降雪のないシーズンとなったため活動実績が皆無でした。そのようななか、台風19号の被害を受けた福島県郡山市へのボランティア活動を11月16日に参加者9名で実施しました。緊急な案内であったものの、町民2名と実習生3名の参加をいただきました。他の団体も例年どおりの活動を行っています。</p>			
【課題と今後の方針】			
<p>町民に対して、ボランティアセンターを認知していただけるようPR活動に努めます。また、地域にいる人材を発掘するため学習会やイベントなどを通して、まずはボランティアセンターを認知していただくことに力を入れます。</p>			
【ボランティア活動状況】			
別紙のとおり			

別紙

2 地域福祉推進事業

(1) ボランティアセンター

【ボランティア活動事業】

(ボランティア登録状況 個人15名 団体7団体)

活動名	活動状況	活動内容	延べ活動者数(前年度)
給食ボランティア	毎月第2・3・4木曜日 (8月は休止) 年33回	単身高齢者等へ夕食弁当を調理	264(242)人
		単身高齢者等へ夕食弁当を配食	25(26)人
お茶の間はすがた	毎月第4木曜 年8回	お茶の間サロン。年齢を問わず居場所づくり	105(128)人
老人クラブ連合会 コーラス集まり	年3回	施設におけるコーラス披露	60(96)人
寄り合いはまな	年7回 (冬季休止)	網代浜地区の高齢者の集まり会を運営	35(32)人
聖籠町赤十字奉仕団	年5回	杉の子の家・中学生等との災害時の訓練や単身高齢者の昼食会の開催、地域活動の参加等	148(70)人
傾聴ボランティア (ひまわり)	年22回	町内の高齢者福祉施設(2ヶ所)へ傾聴訪問	105(144)人
杉の子の家父母会	年7回	杉の子の家の事業や作業支援のボランティア活動	37人
個人ボランティア		・施設で利用者と習字をする(11) ・施設で学習支援や話し相手(3) ・麻雀ボランティア(127)	6人/141回 (4人/22回)
除雪ボランティア	活動実績なし	町内での除雪ボランティア活動。降雪量が少なく、活動する事はなかった。	0(0)人
海岸清掃	8月3日 (網代浜海岸)	自主的に夏まつり花火大会前日の午前6時から実施	21(28)人 中学生・杉の子の家・赤十字奉仕団・サーファーグループ・網代浜地区の方・スマイル等
若者ボランティア (スマイル)	休止		(67)人

事業の概要

拠点区分	地域福祉推進事業		
サービス区分	ボランティアセンター		
事業名	給食サービス事業		
事業費	829,675円		
	財源	町補助	0円
		募金	669,475円
		その他(利用者負担収入)	160,200円

【事業説明】

月3回(8月を除く、第2・3・4木曜日)、一人暮らし高齢者・障害者世帯、要援護者及び要援護世帯等を対象に夕食のお弁当をボランティアが作り、届ける配食サービスです。月3回のため、食の確保までには至らないが、安否確認や繋がりづくりを大切な目的にしています。

【元年度の傾向】

- ・健康面や身体状態の変化により、介護保険のサービスへ移行した利用者の方が多かった。
- ・これまで外部と関わるのが難しかった世帯と配食サービスを通して繋がることができ、今後のサポートのきっかけ作りになりました。
- ・元年度は長きにわたり給食ボランティア(お弁当作りのボランティア)を続けてくださった方が数名引退されました。年齢を重ねていくと「もう歳だから…」と、まだ続けたい気持ちがあるものの周りの目を気にして引退される傾向にあります。一方で、新しく3名の方が給食ボランティアへ加わりました。

【課題と今後の方針】

- ・介護保険や民間の宅配弁当など様々なサービスが身近になってきていることを考慮しながら、新規対象者の検討をしていく必要があります。
- ・利用者の他サービス利用開始等生活実態の変化について、他専門職との情報共有が遅れたことがあったため、連携や情報共有をさらに丁寧に行っていきます。
- ・給食ボランティアの方々は何歳になっても、気軽に楽しく足を運び続けられる活動にするための工夫をします。新規ボランティアの募集をします。

【実績】

利用者25名(前年度30名) (要援護者世帯:負担金1食200円、年33回)

月別	月別利用者数(人)												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
利用者延べ人数	74	69	68	69	/	74	72	85	74	72	77	67	801 (882)

(8月は休み)

事業の概要

拠点区分	地域福祉推進事業		
サービス区分	ボランティアセンター		
事業名	環境美化活動事業		
事業費	5,475,640円		
	財源	町補助	5,475,640円
		募金	0円
		その他()	0円

【事業説明】

町内の環境美化やボランティア活動の振興のために、老人クラブや各集落区長などにプランターへの花植え並びに集落内の主要な場所にプランターの設置と管理をお願いし、必要な材料の提供、植栽したプランターの配送や巡回点検、水やり補助、花の栽培に関する相談受付などを行う事業です。

【元年度の傾向】

元年度は、老人クラブや集落区長への働きかけが不十分であり、職員の他にシルバー人材センターからの派遣とで、従来の方法を踏襲し社協が直接に花壇の管理、町内の主要道路交差点へのプランター設置・回収、水やり、施肥、除草などの環境美化作業を行いました。

【課題と今後の方針】

社会福祉協議会としての特色を出していくために、直営でのプランターの管理を減らして老人クラブ等に花の植栽、プランターの管理を依頼します。参加する老人クラブや集落区長が増えるよう働きかけを行います。

【活動実績】

プランター設置個所	設置数
町役場県道交差点	30
山大夫県道交差点	80
保健センター県道交差点	80
山倉小学校前交差点	20
蓮野地内町道	200
合計	410

※下記の町内ポケットパークの除草作業も実施

- ・ 聖籠ICポケットパーク
- ・ 三賀新発田線花壇
- ・ 苔沼ポケットパーク
- ・ 日東道バスストップポケットパーク

事業の概要

拠点区分	地域福祉推進事業																																	
サービス区分	権利擁護サポートセンター																																	
事業名	法人後見事業																																	
事業費	494,000円																																	
	財源	町補助	0円																															
		募金	0円																															
	その他(利用者負担金収入)	494,000円																																
【事業説明】																																		
<p>この事業は認知症や知的障害、精神障害などにより自分一人で物事を決めることが難しくなったり、正しい判断が十分にできなくなった方がいた場合、当会が成年後見人、保佐人または補助人となり、身の回りに配慮しながら財産の管理や介護サービス等の契約を行います。ご本人の権利を守りながら生活を支援する事業です。また、未成年者の権利を守る意味で未成年後見を行っています。</p>																																		
【元年度の傾向】																																		
<p>この事業の実施では、職員2人により各々、後見類型1名、補助類型1名の法人後見業務を行っています。また、法人後見事業運営委員会を開催して支援の内容の共有化を図りながら、必要な助言もいただいているところです。なお、未成年後見の受任はありませんでした。</p>																																		
【課題と今後の方針】																																		
<p>後見事業を開始して2名の成年後見事業を行っています。新たに、未成年者に対する後見業務も開始しました。</p> <p>引続き必要な方々への権利擁護の支援ができるように、担当職員の資質向上による事務的強化を図ります。</p>																																		
【実績】																																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>後見類型</th> <th>後見</th> <th>保佐</th> <th>補助</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受任件数</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>支援回数</td> <td>23</td> <td></td> <td>35</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>(財産管理)</td> <td>11</td> <td></td> <td>12</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>(身上監護)</td> <td>11</td> <td></td> <td>20</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>(その他)</td> <td>1</td> <td></td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>				後見類型	後見	保佐	補助	計	受任件数	1		1	2	支援回数	23		35	58	(財産管理)	11		12	23	(身上監護)	11		20	31	(その他)	1		3	4
後見類型	後見	保佐	補助	計																														
受任件数	1		1	2																														
支援回数	23		35	58																														
(財産管理)	11		12	23																														
(身上監護)	11		20	31																														
(その他)	1		3	4																														

事業の概要

拠点区分	地域福祉推進事業		
サービス区分	権利擁護サポートセンター		
事業名	日常生活自立支援事業		
事業費	327,800円		
	財源	県社協委託	313,000円
		募金	0円
		その他（利用者負担金収入）	14,800円

【事業説明】

病気や障がいのため、契約能力はあるものの、誰かの見守りが必要な方が対象となります。金銭管理や契約の立会等を行い、安心して生活できるお手伝いを行います。ご本人と契約を行い、お金の引落、通帳の保管管理、手紙の内容をお伝えする支援を行っています。

【元年度の傾向】

4件の新規相談があり、4件の支援を行いました。うち2件は生活保護世帯。家族がそれぞれに課題を抱えている世帯でした。そのため、地域包括支援センターや保健師などと情報共有を大切にしながら、支援を行いました。支援員の方も2名新規登録していただき、一緒に活動する中で、支援員の役割をお伝えしてきました。

【課題と今後の方針】

日常生活自立支援事業のさらなる啓発活動が必要と考えます。どのような支援を行って、どのような変化があったのかを行政保健師・地域包括支援センター・介護支援専門員に伝えることで社会福祉協議会が行う役割を知ってもらうことが必要と考えます。

【実績】

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計
相談援助件数	30			21	51
契約締結件数	3			1	4
解約件数	1			1	2

事業の概要

拠点区分	地域福祉推進事業		
サービス区分	たすけあい資金貸付事業		
事業名	たすけあい資金貸付		
事業費	300,000 円		
	財 源	町補助	0円
		募金	0円
		その他（自主財源）	300,000円
【事業説明】			
<p>聖籠町に居住する一時的に生活に困窮している世帯を対象として、緊急のつなぎ資金の貸付を行います。貸付金は、1世帯7万円。単身世帯は3万円以内。無利息。</p>			
【元年度の傾向】			
<p>相談者、利用者はいませんでした。</p>			
【課題と今後の方針】			
<p>事業の広報が必要。また、緊急貸付であり、迅速な貸付が実施できる体制作りが必要と考えます。</p>			
【貸付状況】			
<p>（7万円 2年以内 : 単身世帯3万円 1年以内）</p> <p>相談件数0件 貸付決定件数0件</p>			
年度	貸付世帯	貸付件数	
H28	0	0	
H29	0	0	
H30	0	0	
R元	0	0	
年度末残高（利子含む）		0円	

事業の概要

拠点区分	高齢者支援事業		
サービス区分	生きがい型デイサービス事業		
事業名	なごみの会		
事業費	11,102,214円		
	財源	町委託（受託金）	11,102,214円
		募金	0円
		その他（ ）	0円

【事業説明】

この事業は、ひとり暮らしの高齢者や家に閉じこもりがちな高齢者が要介護状態に進行しないよう、各種サービス（送迎・健康チェック・生きがい活動・食事等）の提供をします。

週4日実施（毎週火曜日から金曜日まで）

町委託事業

【元年度の傾向】

令和元年度は178日の開催。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月は休み）登録者57名、延べ1,717人、一日平均9.6人。その中で90歳以上が12名で、全体の約1/4を占めています。また、85歳以上の後期高齢者が全体の2/3（25人）を占めています。なかには、10年前後利用されている方もいて、介護予防の役割を果たせていると感じています。

【課題と今後の方針】

利用当初から要介護状態に近い状態で利用される方が多く、短期間利用になっています。事業運営に当たっては、「事業の周知徹底」「処遇の質向上に向けた家族との情報交換」等、利用者増加に向けて地域包括支援センターとの間で協議を進めていきます。

【実績】

年度	稼働日数	登録者数	実利用者数	延べ利用者 （送迎）数	給食		1日平均利 用者数
					実人数	延べ人数	
H28	197日	70人	66人	2,024人	66人	2,024人	10.3人
H29	197日	76人	76人	1,662人	76人	1,662人	8.4人
H30	199日	51人	49人	1,764人	49人	1,764人	8.9人
R元	178日	57人	56人	1,717人	56人	1,717人	9.6人

事業の概要

拠点区分	高齢者支援事業																																		
サービス区分	特定高齢者等介護予防事業																																		
事業名	らくらく教室																																		
事業費	2, 1 4 8, 6 5 7 円																																		
	財 源	町委託（受託金）		2, 1 4 8, 6 5 7 円																															
		募金		0 円																															
		その他（ ）		0 円																															
【事業説明】																																			
<p>65歳以上で要介護状態等になるおそれの高い虚弱な対象者に、要介護状態等にならないよう運動器具を使用したトレーニング指導、口腔ケア、脳トレ等の予防事業を提供します。</p> <p>週4日実施（月、火、木、金の午前と午後）</p>																																			
【元年度の傾向】																																			
<p>長く継続している対象者が多く、下肢筋力の維持に成果が出ています（転倒予防等）。熱中症対策、感染症対策など直接指導することで、自身の体調管理に気をつけるようになっていきます。</p>																																			
【課題と今後の方針】																																			
<p>要介護状態になる前の予防事業を具体的に学べるように工夫します。個別的な状況の変化は、地域包括支援センターと連携しながら個別支援を心がけます。</p>																																			
【実績】																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>稼働日数</th> <th>登録者数</th> <th>実利用者数</th> <th>延べ利用者数</th> <th>1日平均利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>194日</td> <td>51人</td> <td>37人</td> <td>2,453人</td> <td>12.6人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>191日</td> <td>53人</td> <td>40人</td> <td>2,325人</td> <td>12.2人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>188日</td> <td>54人</td> <td>52人</td> <td>2,535人</td> <td>13.5人</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>170日</td> <td>40人</td> <td>51人</td> <td>2,270人</td> <td>13.4人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	稼働日数	登録者数	実利用者数	延べ利用者数	1日平均利用者数	H28	194日	51人	37人	2,453人	12.6人	H29	191日	53人	40人	2,325人	12.2人	H30	188日	54人	52人	2,535人	13.5人	R元	170日	40人	51人	2,270人	13.4人
年度	稼働日数	登録者数	実利用者数	延べ利用者数	1日平均利用者数																														
H28	194日	51人	37人	2,453人	12.6人																														
H29	191日	53人	40人	2,325人	12.2人																														
H30	188日	54人	52人	2,535人	13.5人																														
R元	170日	40人	51人	2,270人	13.4人																														

事業の概要

拠点区分	共同募金配分金事業		
サービス区分	一般募金配分金事業		
事業名	共同募金配分事業		
事業費	1, 0 2 7, 5 6 8 円		
	財 源	町補助	0 円
		募金	1, 0 2 7, 5 6 8 円
		その他 ()	0 円

【事業説明】

共同募金の配分金事業については次のとおりです。

- ・一般募金配分金事業
 - ①在宅心身障害者おむつ給付②障がい者リフト付タクシー③福祉教育
 - ④広報誌発行「社協だより」⑤県民福祉大会参加事業⑥ふくしNewもん
 - ⑦地域支え合いマップづくり
- ・ボランティアセンター
 - ①給食ボランティア②ボランティア育成③広報誌「ぼらねっと」④ふれあいサロン

【元年度の傾向】

地域支え合いマップづくりなど一部回数を減らすなど計画どおり進めることができなかった事業がありました。

【課題と今後の方針】

助成申請を配分年度の2年前に申請することから、計画に変更がある場合は共同募金委員会への手続きが必要になり、スケジュール管理を適切に事業を行うなど、事業申請者で執行状況等を確認してもらう必要があります。

【参考】

(令和元年度募金実績)

区分	赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金
世帯募金	1,789,050円	714,200円
法人募金	1,256,267円	
学校募金	20,264円	
職域募金	134,797円	
募金箱	21,038円	
その他	159,495円	
合 計	3,380,911円	714,200円

注：元年度の実績により2年度の配分金が決定。

事業の概要

拠点区分	共同募金配分金事業		
サービス区分	一般募金配分金事業		
事業名	在宅心身障害者紙おむつ給付事業		
事業費	61,240円		
	財源	町補助	0円
		募金	61,240円
		その他()	0円

【事業説明】

常時おむつを必要としている聖籠町在住の在宅心身障害者に年4回(5月、8月、11月、2月)支給している制度です。

【元年度の傾向】

4名が利用されました。利用者の増減は無く、4名の方々に年4回おむつを支給しました。

【課題と今後の方針】

制度の周知が課題であり、各関係機関に情報提供するとともにホームページや広報を通して、広く周知できるよう努めます。

【実績】

利用者4名(前年度4名)

月別	支給月別利用者人数(人)				
	5月	8月	11月	2月	合計 (前年)
	4	4	4	4	16 (16)

※希望する銘柄を支給し、支給枚数は1回につき30枚程度。

事業の概要

拠点区分	共同募金配分金事業		
サービス区分	一般募金配分金事業		
事業名	リフト付タクシー利用料金助成事業		
事業費	36,260円		
	財源	町補助	0円
		募金	36,260円
		その他()	0円

【事業説明】

聖籠町在住で身体障害者手帳を交付されており、かつ、常時車イス・ストレッチャーを利用している方で、通院等の目的によりリフト付タクシーを利用する場合に利用料金を補助する制度です。利用料金の2分の1の補助をしており、1回の補助の上限は5千円となります。利用券は1名につき、年間24枚の支給をしています。

【元年度の傾向】

1年を通じて利用者の増減は無く、2名の利用者が本事業のサービスを受けておりました。利用のない月もありますが、定期受診時に利用されている方や急な受診を要する際に利用する方がありました。

【課題と今後の方針】

利用人数が減少しているため、対象者のニーズを把握することや町の福祉タクシー助成事業等と事業対象者の情報を共有し、重複することなく補完し合えるよう努めていきます。

【実績】

利用者2名（前年度4名）（2分の1助成 限度額5千円）

月別	月別利用者数（人）												合計	助成額計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
利用者延べ人数	2		2	2		2	4		2	2			16 (28)	36,260円 (56,975)

（往復分は2回とする。助成額計に印紙代5社分1,000円含む。）

事業の概要

拠点区分	共同募金配分金事業		
サービス区分	一般募金共同募金活動		
事業名	福祉教育		
事業費	34,460円		
	財源	町補助	0円
		募金	34,460円
		その他 ()	0円

【事業説明】

町内の小中学校にて福祉教育を実施しています。
 地域社会の様々なゲストにおいでいただき体験学習を通じて、気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現するなど双方向で認めあうことを確認するものです。

【元年度の傾向】

いろいろな人との出会いから、人を思う“思い方”を学んだと思います。ただ、事業として見たとき毎年のことで、ルーティンワークになる傾向があります。

【課題と今後の方針】

学校との協同で行っている事業で、担当者が毎年のように変わる、予定が変更になるなど、予定を合わせる事が難しいところもあります。

報告連絡相談を密に行うことが必要であると考えます。

【実績】

教科等	実施状況	内容	延べ活動者数 (括弧は前年)
総合的な学習の時間	年8回 中学校(1年生対象)	子どもたちの豊かな人間性や社会性の育成を目指した心教育・共に生きる力をはぐくむことを目指して中学校と協働で実施	19(22)人
〃	年1回 蓮野小学校(4年生対象)	障がい者理解や高齢者理解からすべての人間を必しく理解するための単元を小学校と協働で実施	1(1)人

事業の概要

拠点区分	共同募金配分金事業		
サービス区分	歳末たすけあい事業		
事業名	歳末たすけあい		
事業費	714,200円		
	財源	町補助	0円
		募金	714,200円
		その他()	0円

【事業説明】

12月中に、一人暮らし老人、施設通所者、母子・父子世帯、在宅重度心身障害者、交通遺児、生活保護世帯、在宅寝たきり・認知症老人の対象者に、民生委員、職員で歳末見舞品をご自宅までお届けしています。

【元年度の傾向】

母子・父子世帯の対象者の情報が無いため、ホームページ・広報等で自己申請のお願いをしていますが、今年度は1件も連絡はありませんでした。在宅老人は、介護度3以上の方を対象にしているため、施設に入所される方が多く対象者が減少しています。

【課題と今後の方針】

個人情報関係で名簿作成が難しくなっています。広報誌等でお知らせをしていますが、高齢者の自己申請は困難と判断して、70歳以上の一人暮らしは地域包括支援センターに、寝たきり老人等は居宅介護支援事業所に名簿の依頼をしています。新規の対象者には、事前に歳末見舞品の連絡をおこなってからお届けしています。民生委員からはこの見舞品事業を行うことで、年一回会える対象者もいるため続けてほしいとの声がありますが、何回も訪問しても留守の家があり大変との声もあります。

【実績】

区分	種別	対象者数	備考
在宅訪問	ひとり暮らし老人	161人 (165人)	(1,550円相当の品物) だいふきん1枚 米粉クッキーセット 年越しそば2束 うどん2束
	要保護世帯	47人 (45人)	
	重度心身障害者	59人 (61人)	
	母子・父子世帯	9人 (10人)	
	ねたきり・認知症老人	90人 (94人)	
	施設通所者	55人 (55人)	
対象者総数		421人 (430人)	652,550円 (645,000円)
事務諸経費		61,650円 (51,800円)	
歳末たすけあい募金支出合計		714,200円 (696,800円)	

事業の概要

拠点区分	障害福祉推進事業		
サービス区分	障害者支援センター事業		
事業名	相談支援		
事業費	3,913,030円		
	財源	町委託(受託金)	3,765,110円
		募金(共同募金)	100,000円
		その他(障害支援区分認定 調査費・11件)	47,920円
【事業説明】			
<p>聖籠町で暮らす障がい者(児)の安心した豊かな生活と社会参加に向け、社会福祉協議会が有する機能を活用し、行政や他専門機関と連携しながら、総合的に相談や支援を行っています。</p>			
【元年度の傾向】			
<p>今年度だけではなく、最近の傾向として不安の解消や情緒の安定のための対応が多くなっています。(来所・訪問・電話・メール等、方法はさまざまです。)</p> <p>現代のストレス社会からくる精神的疾患やそこから派生する二次障害になりつつある事案の増加から、障害手帳取得までではないものの、苦しんでいる人や不安感の高い人、どうしたらいいかわからない人等の相談がかなり多くなっています。</p> <p>不登校やひきこもりの若者対応も増えています。</p>			
【課題と今後の方針】			
<p>社会福祉協議会が行っている障害者支援センターであるため、さまざまな地域活動や福祉教育活動でつながるケースが多い。このメリットを活かしながら、行政とも連携し、ここだけで…この人だけに…ではなく、その人を取り巻く家族や状況も考慮しサポートできるよう、情報の共有や役割分担を明確にし、今後は動いていきたいと考えています。</p> <p>「障害者理解」「障害者から学ぶ」等、社会福祉協議会だからできる発信や啓発を行うことで、誰もがその人らしく心豊かに安心した暮らしの実現に少しでも近づいていけるよう、取組んでいきます。</p>			
【実績】			
別紙のとおり			

5 障害福祉推進事業

(1) 障害者支援センター事業

【相談支援】

人数	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	その他
156人 (障がい児37人・障がい者119人)	18人	57人	25人	35人	21人
相談内容	件数	相談内容	件数		
福祉サービスの利用等に関する支援	1,159	家計・経済に関する支援	129		
障害や病状の理解に関する支援	76	生活技術に関する支援	25		
健康・医療に関する支援	136	就労に関する支援	87		
不安の解消・情緒安定に関する支援	3,142	社会参加・余暇活動に関する支援	12		
保育・教育に関する支援	294	権利擁護に関する支援	0		
家族関係・人間関係に関する支援	33	その他	30		
			合計	5,123 (7,063)	

() は前年度

項目	手段等				計
	来所	訪問	同行	電話等	
(1) 相談支援件数	386	597			4,071
	2,856 (メール含む)		232		
(2) 関係機関との 連絡調整	698	124			1,052
	73		157		
退院促進支援事業に係る支援					計
(3) 居住サポート	来所	訪問			
	電話等	同行			

事業の概要

拠点区分	障害者福祉推進事業		
サービス区分	障害者支援センター事業		
事業名	障害者対策交付事業		
事業費	230,000円		
	財源	町補助	230,000円
		募金	円
		その他 ()	円

【事業説明】

町内の障害者団体の活動支援を目的に町から補助金の交付を受けて、各団体へ支援しているものです。

(交付団体)

- ①身体障害者団体福祉会 ②手をつなぐ親の会 ③杉の子会 ④いちごの会 ⑤松の会
⑥たんぼぼの会

【元年度の傾向】

会員の減少やご本人やご家族の高齢化に伴い、従来の活動を行うことが大変になってきている現状があります。会場までの送迎、介助の必要な会員の増加等から考えなければならない団体が出てきています。

しかし、補助金の交付は受けていないものの、課題別（発達障害のある子どもや医療ケア児の親の集まり（新発田市と合同）等、制度の狭間で困っている人たちの集いが動き始めています。

【課題と今後の方針】

元年度の傾向にも記載した通り、会員の減少や高齢化に伴う活動の停滞等が課題です。補助金の金額の見直しや辞退をお願いしてくる団体もあり、今後の検討が必要と考えます。

【実績】

団体名	会員数	助成交付金
身体障害者団体福祉会	22人	100,000円
手をつなぐ親の会	25人	25,000円
杉の子会	7人	25,000円
いちごの会	6人	25,000円
松の会	5人	30,000円
たんぼぼの会	5人	25,000円

事業の概要

拠点区分	障害福祉推進事業	
サービス区分	指定特定障がい者（児）相談支援事業	
事業名	サービス利用計画作成	
事業費	9, 4 2 2, 0 8 9 円	
	財源	町委託（受託金） 5, 6 0 4, 5 4 9円
		募金 0円
		その他（自立支援給付費） 3, 8 1 7, 5 4 0円

【事業説明】

障害福祉サービスを利用する際に、利用計画案、そして利用計画を作成し、サービス利用の課題や課題解決に向けての調整や継続利用の支援を行っています。

利用が開始されると、サービスが本人にとって適切なものであるか（計画の検証・見直し等）のモニタリングを行います。（時期は厚生労働省の定める時期に基づく）

計画策定と同時に、本人の状態に応じ事業所とのやり取りや訪問、ご家族とのやり取りや自宅訪問、ケース会議等、本人の自己実現や安定した生活を送るための計画になっているかを確認しながら生活のサポートや支援を行います。

【元年度の傾向】

相談があり手帳取得しても、就職するためのサービス利用せずとも障害者雇用（障害者雇用の増加）につながった人が多かった。

本人や家族の焦りからサービス利用の相談は多々ありますが、各専門職からも情報提供や助言をもらい、失敗経験や体調悪化を減らすため、サービス利用の前に治療や療養を勧めた人が多かった。

（前年度、町から依頼があった人すべての計画作成を行い、利用、継続サポートを行いました。短い人で2日、長くても数か月で終了した人が多かったため、町へも聴き取りの徹底と事業所へは見学だけでなく、1週間程度の体験を今年度はお願いしました。途中で終了した人は、体調を崩し入院になった人、再度在宅生活に等と、本人にとってマイナスになってしまったことから、申請前の相談・情報収集を徹底したことが減った要因です。）

【課題と今後の方針】

本人の状態像を私たち相談支援専門員だけでなく、申請を最初に受ける行政職員・保健師等と連携し、本人にとって一番良いサービスの提供ができるように努めたい。日々、サービス内容の変化や新規事業所の参入もあるため、情報の取得や情報発信にも心がけたい。

【実績】

年度	作成件数
H28	116件
H29	123件
H30	90件
R元	73件

（モニタリング含む184件）

事業の概要

拠点区分	杉の子の家		
サービス区分	就労継続B型事業		
事業名	就労継続支援B型		
事業費	39,249,437円		
	財源	町補助	10,894,807円
		自立支援給付費等収入	20,920,840円
		その他(寄付金・就労支援収入等)	7,433,790円

【事業説明】

就労継続支援B型事業は、障害者総合支援法の訓練給付に基づくサービスです。一般企業での就労が困難な方に働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う場です。杉の子の家の作業活動は、パンや焼き菓子、薪づくり、手芸品等の製造販売と受託事業を行っております。それらの作業を通し、地域とのつながりを大切にしながら、利用者が主体的に活動できるよう支援しています。

【元年度の傾向】

作業活動では、全作業種目において障がいの状況や特性に応じ、作業工程を細分化し取組むことで利用者の作業意欲向上につながっています。また、薪の原材料の木材等を行政や地域の方々から提供していただき、利用者が継続して作業活動に取り組むことができました。

※利用者数14名(男性9名、女性5名) 利用延べ人数3,200人(前年度3,258人)

開所日数246日

作業活動：薪づくり、食品製造・販売(パン、シフォンケーキ、クッキー等)

手芸品(枕、織物、雑巾)、リサイクル品(廃油石鹸、EMぼかし、古紙

空き缶、小型家電回収)、受託作業

職員11名(12月～パンの店販売員を1名雇用)

【課題と今後の方針】

安定した作業活動の確保と授産製品の品質向上と開発に努めながら、授産収入向上に努めます。また、新規事業の充実を図りつつ、それらの活動を通して地域とのつながりを深め、社会参加の機会にしていきたいと考えています。

【実績】

授産収入と支出

商品	収入	支出
薪(配達料込)	971,600	106,234
食品(パン、焼き菓子)	3,717,817	1,823,447
枕	53,310	0
織物	175,590	84,441
雑巾	78,900	29,573
小物品等	0	864
廃油石鹸	48,760	9,996
EMぼかし	100,300	8,520
古紙、空き缶等	303,573	0
受託作業	411,194	0
その他収入	1,559,733	1,363,102
計	7,420,777	3,426,177

収入合計7,420,777円 - 支出合計3,426,177円 = 3,994,600円

工賃支払額3,994,600円(就労B 3,904,600円 / 生活介護 90,000円)

事業の概要

拠点区分	杉の子の家		
サービス区分	生活介護事業		
事業名	生活介護		
事業費	17,346,408円		
	財源	町補助	648円
		介護給付費等収入	17,255,760円
		その他（就労支援費収入）	90,000円
【事業説明】			
<p>生活介護事業は、障害者総合支援法の介護給付に基づくサービスです。常時介護を必要とする方に、昼間、日常生活に必要な支援を行うとともに、創作活動または生産活動の機会を提供する場です。</p> <p>杉の子の家では、個別支援計画をもとに入浴、排泄、食事の援助および創作活動等を中心に、利用者一人ひとりが楽しく居心地の良い快適な一日を過ごせるよう支援しています。</p>			
【元年度の傾向】			
<p>利用者に、けがや事故のないよう安心して過ごせる環境づくりの構築と、個々のプログラムを再検討し、職員が利用者の状況を共有し統一した支援を行えるような体制づくりを図りました。</p>			
【課題と今後の方針】			
<p>利用者の身辺援助を通し、身体的な機能維持を保てるよう支援するとともに、年々家族状況が変化中、家族の介護負担の軽減につながる支援を検討していきたい。</p> <p>そして、職員が引き続き利用者の状況を共有し統一した支援を行える体制づくりに努めます。</p>			
【実績】			
<p>開所日数 246日</p> <p>利用者人数5名（男性3名、女性2名） （前年度同数）</p> <p>利用延べ人数1,091人（前年度1,100人）</p>			

社会福祉協議会運営の概要

○ 理事会・評議員会等

開催日	会議名	出席者数	議事内容
令和元年 5月15日	会計監査	監事 2人	・平成30年度法人事業運営並びに社会福祉事業会計監査
令和元年 5月29日	第1回 理事会	理事 8人 監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> ・会長及び常務理事の職務執行状況について ・社会福祉法人聖籠町社会福祉協議会経理規程別表2 勘定科目の変更について ・役員候補者の推薦について ・平成30年度社会福祉法人聖籠町社会福祉協議会事業報告及び資金収支決算承認について ・社会福祉法人聖籠町社会福祉協議会定時評議員会の開催について
令和元年 6月17日	第1回 評議員会	評議員 12人 会長 監事 1人	<ul style="list-style-type: none"> ・役員の選任について ・平成30年度社会福祉法人聖籠町社会福祉協議会事業報告及び資金収支決算承認について
令和元年 6月17日	第2回 理事会	理事 9人 監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> ・役員の選任結果について ・会長、副会長及び常務理事の選定について
令和元年 9月30日	第3回 理事会	理事 8人 監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> ・会長及び常務理事の職務執行状況について ・社会福祉法人聖籠町社会福祉協議会臨時職員及びパートタイム職員就業規程の一部改正について ・社会福祉法人聖籠町社会福祉協議会給与規程の一部改正について ・社会福祉法人聖籠町社会福祉協議会たすけあい事業実施要綱の一部改正について ・令和元年度社会福祉法人聖籠町社会福祉協議会1次補正資金収支予算(案)について ・令和元年度第2回評議員会の開催について
令和元年 10月8日	第2回 評議員会	評議員 12人 会長	・令和元年度社会福祉法人聖籠町社会福祉協議会1次補正資金収支予算(案)について
令和元年 12月5日	第4回 理事会	理事 9人 監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> ・会長及び常務理事の職務執行状況について ・社会福祉法人聖籠町社会福祉協議会指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業運営規程の一部改正について ・社会福祉法人聖籠町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会等の報酬等に関する規程の一部改正について

<p>令和2年 3月17日</p>	<p>第5回 理事会 書面決議</p>	<p>同意した 理事 9人 異議なしの 監事 2人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会長及び常務理事の職務執行状況について ・社会福祉法人聖籠町社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について ・社会福祉法人聖籠町社会福祉協議会臨時職員及びパートタイム職員就業規程の一部改正について ・社会福祉法人聖籠町社会福祉協議会給与規程の一部改正について ・令和2年度社会福祉法人聖籠町社会福祉協議会事業計画及び資金収支予算（案）について ・令和元年度第3回社会福祉法人聖籠町社会福祉協議会評議員会の開催について
<p>令和2年 3月23日</p>	<p>第3回 評議員会 書面決議</p>	<p>同意した 評議員 12人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度社会福祉法人聖籠町社会福祉協議会事業計画及び資金収支予算（案）について

○ 社会福祉協議会職員研修（各事業所外部会議並びに研修参加）

所属名	研修内容
<p>法人運営事業 (事務局)</p>	<p>聖籠町民生委員児童委員協議会視察研修（局長） 社会福祉法人の統廃合について～今後を見据えて～ 社会福祉協議会会長視察研修（会長） 年次有給休暇5日取得対応セミナー 「依存症について知っていますか」講演会 苦情解決責任者等のための苦情解決研修会 69回新潟県民福祉大会（南魚沼市） 令和元年度市町村社会福祉協議会事務局長会議 令和元年度「人材育成・定着セミナー」 下越フォーラム～これからの福祉の可能性を考える～ 働き方改革関連法に関する説明会 共同募金事務局長会議</p>
<p>地域福祉推進事業 (地域福祉活動推進)</p> <p>(権利擁護事業)</p>	<p>平成31年度第1回地域共生社会実現に向けた地域福祉活動の展開に関する検討委員会 令和元年度柏崎市社会福祉協議会 会長表彰 第10回赤い羽根パートナーミーティングかしわざき 令和元年度コミュニティーソーシャルワーク実践者養成研修（初級編） 令和元年度第2回地域共生社会実現に向けた地域福祉活動の展開に関する検討委員会 令和元年度地域福祉推進セミナー 令和元年度福祉教育セミナー 令和元年度地域福祉コーディネーター研修 令和元年度第3回地域共生社会実現に向けた地域福祉活動の展開に関する検討委員会 実習報告会（青陵大学） 令和元年度市町村社会福祉協議会事業継続計画（BCP）ガイドライン研修 社会福祉相談援助実習（本実習）報告会（新潟医療福祉大学） 共生社会学科報告会（敬和学園大学） 令和元年度市町村社協生活福祉資金貸付事業担当部課長会議 令和元年度成年後見制度担当者研修会 佐渡市社会福祉協議会が行っている法人後見の視察研修 令和元年度法人後見実施団体等による意見交換会 令和元年度日常生活自立支援事業専門員・担当者会議 令和元年度法人後見専門員スキルアップ研修会 未成年後見人養成研修</p>

<p>(地域支え合い推進事業)</p> <p>(その他)</p>	<p>令和元年度日常生活自立支援事業事業生活支援員研修 令和元年度第2回日常生活自立支援事業専門員会議 お茶の間見学ツアー（実家の茶の間・紫竹） 第1回聖籠町在宅医療・介護連携多職種研修会 令和元年度新潟県生活支援コーディネーター情報交換会 聖籠町在宅医療・介護多職種研修会 ロジック研修会グループワーク（2回開催） お茶の間見学ツアー（お茶の間あいあい見学） 聖籠町在宅医療・介護多職種研修会 助け合いの学校 in 中央区 令和元年度高齢者の生活支援実践者との意見交換会「移動支援」 令和元年度高齢者の生活支援実践者との意見交換会「助け合い」 まちづくり創生大学第4、5、6回 講座「まちづくりワークショップ」（3回開催）</p> <p>主任介護支援専門員更新研修</p>
<p>高齢者支援事業 (生きがい型デイサービス事業)</p>	<p>町包括介護支援センターとの連絡会議 感染症研修</p>
<p>障害者支援センター</p>	<p>令和元年度障害支援区分認定調査員及び市町村審査会委員研修 令和元年度新潟県相談支援従事者初任者研修（前期・後期） 令和元年度下越圏域障がい者地域生活支援連絡調整会議療育部会研修（～子どもの困り感に寄り添う支援・指導の実際） 令和元年度聖籠町要保護児童対策地域協議会実務担当者研修 令和元年度新潟県医療観察制度地域連絡会 「依存症について知っていますか」講演会 令和元年度下越フォーラム 令和元年度新潟県精神医療・保健・福祉関係者合同実践セミナー スポネットせいろう杯ボッチャ 令和元年度聖籠町子ども家庭相談センター研修会 「発達障害児・者に対する上手な接し方」研修会 令和元年度聞こえないってどんなこと？手話研修会</p>
<p>杉の子の家</p>	<p>令和元年度施設製品コンプライアンス研修会 （食品表示法の完全移行に向けて） 伐木等業務（チェーンソー）特別教育講習会 食品 HACCP 研修会（パン編） 「発達障害児・者に対する上手な接し方」研修会</p>

- 聖籠町社会福祉協議会全体研修
開催なし
- 各事業所内部研修等（会議）

生きがい型デイサービス （なごみの会）	スタッフ会議（年3回） 部内研修（年1回）
障害者支援センター	定例会議（随時開催） 部内研修（随時開催）
杉の子の家	定例会議（年8回） 部内研修（年4回） 虐待研修（年1回）

- 所属長会議 毎月1回 9人
事務局、地域福祉推進事業、高齢者支援事業（なごみの会）、障害者支援センター、杉の子の家、包括支援センター
- 安全衛生委員会 毎月1回（安全衛生委員11人）

寄付の受領状況

金品 件数 10件 金額 271,690円
 物品 件数 12件 タオル、ウエス、サラダ油（石鹸作りに使用）クーピー等

事務局が携わっている福祉団体等

- 本会に事務局を置く団体
 - 聖籠町共同募金委員会
 - 聖籠町老人クラブ連合会
 - 聖籠町手をつなぐ親の会
 - 聖籠町身体障害者団体福祉会
 - 聖籠町赤十字奉仕団
- 相互協力団体
 - 聖籠町民生委員児童委員協議会

0

0